

津軽海峡からのメッセージ

～地域を育てきた橋と地域の未来を紡ぐ橋～

どなたでも
お気軽に
ご参加ください

第一部 / 講演 15:30～16:20

20世紀の夢、巨大海峡横断橋の実現

～本州四国連絡橋がもたらしたもの～

◆ 講師 大江 慎一氏 本州四国連絡高速道路株式会社 参与



第二部 / パネルディスカッション 16:30～17:30

架橋が秘めた未来に向けて今なすべきことは！

◆ パネラー



松永 昭吾 氏

横浜国立大学
豊穰な社会研究センター
客員教授



工藤 夏子 氏

津軽海峡マグロ女子会
函館側とりまとめ役



奥平 理 氏

北海道教育大学
函館校 国際地域学科
准教授

◆ コーディネーター



北原 啓司 氏

弘前大学
特任教授

日時

9月26日(木)
15:30～17:30

会場

ホテル函館ロイヤル シーサイド
函館市大森町16-9/ TEL. 050-1807-3406

申込

本州・北海道架橋を考える会事務局 (担当:紀國)
函館市昭和1丁目3番8号 / TEL. 080-6065-1030
Email: r.kinokuni@kinokunikensetsu.co.jp

※参加を希望される方は、9月20日(金)までに事務局へお申し込みください

※公益社団法人 土木学会 CPDプログラム認定



【主催】本州・北海道架橋を考える会

【後援/(予定)】東北地方整備局 青森河川国道事務所/青森県下北地域県民局/青森県大間町/青森県むつ市/(一社)青森県建設業協会/下北建設業協会
むつ商工会議所/(公社)青森青年会議所 /青森商工会議所/北海道開発局 函館開発建設部/北海道・渡島総合振興局/函館市/函館商工会議所
(一社)函館青年会議所/(公社)土木学会北海道支部/(公社)日本技術士会北海道本部/(一社)函館建設業協会/函館測量設計業協会/函館建青会
(一社)北海道建設業協会/(一社)北海道舗装事業協会/(一社)日本建設業連合会北海道支部/(一社)日本橋梁建設協会北海道事務所
(一社)日本建設機械施工協会北海道支部/(一社)建設コンサルタンツ協会北海道支部 (順不同)



大江 慎一氏 / 本州四国連絡高速道路株式会社 参与

1980年 東北大学 工学部 土木工学科 卒業。4月より、本州四国連絡橋公団
瀬戸大橋や明石海峡大橋などの上部構造の調査設計や工事監理に従事
本四架橋完成後は、主に本州四国連絡橋の維持管理に従事
2011年 しまなみ今治管理センター所長就任
その後、(株)ブリッジ・エンジニアリング代表取締役社長、
本州四国連絡高速道路(株)の取締役常務執行役員などを歴任
技術士(建設部門)、土木鋼構造診断士、コンクリート診断士



松永 昭吾氏 / 横浜国立大学 豊穰な社会研究センター客員教授

1970年 長崎県佐世保市生まれ
九州産業大学教授(非常勤)、インフラ・ラボ代表取締役
国内外において橋の設計・維持管理、および地震/噴火/豪雨災害等の災害調査・復旧計画を専門とする土木
技術者、研究者。大学、行政機関等において教授・講師をつとめるかたわら、東京、大阪における舟遊びガイド
や、子どもたち向けの土木工事の本物体験イベントを開催している
モットーは「土木は優しさをかたちにする仕事」。趣味は土木写真と歴史散歩、読書



工藤 夏子氏 / 津軽海峡マグロ女子会 函館側とりまとめ役

1996年 株式会社北洋銀行入社
2005年 家業である、株式会社矢野旅館へ入社
2008年 株式会社矢野旅館代表取締役社長就任
2014年 津軽海峡マグロ女子会立ち上げ
2024年4月 松前物産協会会長



奥平 理氏 / 北海道教育大学函館校国際地域学科准教授

1991年3月 広島大学大学院文学研究科博士課程前期修了。4月より、北海道函館中部高等学校教諭
1995年4月 函館工業高等専門学校一般科目講師。2004年10月より、同校一般科目人文系准教授
2006年4月 呉工業高等専門学校一般科目准教授
2008年4月 函館工業高等専門学校一般科目人文系准教授。2016年4月より、同校一般系教授
2020年10月 北海道教育大学函館校国際地域学科准教授
専門分野は、観光学・都市地理学



北原 啓司氏 / 弘前大学特任教授

1956年 伊勢市生まれ
東北大学大学院工学研究科博士課程修了。同大学建築学科助手を経て、1994年より弘前大学
2014年～弘前大学大学院地域社会研究科研究科長。2022年名誉教授。博士(工学)、一級建築士
専門は「まち育て」。各自治体の都市計画や住宅政策、景観に関わる委員を務める傍ら、東日本大震災以来、
国土交通省、大船渡市、宮古市、石巻市等の震災復興に関わる様々な委員を務める
著書に「空間を場所に变えるまち育て」(萌文社)、「SDGsを足許から考えかたちにする」(弘前大学出版会)

9月26日(木) 本州・北海道架橋を考える会 講演会・懇親会 参加申込書



◀ お申し込み
フォーム

講演会「津軽海峡からのメッセージ」参加費 ▶ 無料

懇親会「架橋のタベ」時間 ▶ 18:00~19:30 / 会場 ▶ ホテル函館ロイヤル シーサイド

会費 ▶ 6,000円/人 ※お申し込みフォーム、FAX、E-mailのいずれかよりお申し込みください

(どちらかに○をおつけください)

会社名	お名前
代表者様	
Email	お名前
(当日ご連絡のつく)	
お電話番号	お名前
	お名前

講演会	/	出席	・	欠席
懇親会	/	出席	・	欠席
講演会	/	出席	・	欠席
懇親会	/	出席	・	欠席
講演会	/	出席	・	欠席
懇親会	/	出席	・	欠席
講演会	/	出席	・	欠席
懇親会	/	出席	・	欠席

2024 年 7 月

本州・北海道架橋を考える会 入会（法人・団体会員）のご案内

本州・北海道架橋を考える会は、津軽海峡に人や自動車が自由に通れる橋を架けることを目指す仲間の会として 1994 年 2 月に設立されました。本会は、これまでの 30 年間、フォーラム開催などの活動を通じて、津軽海峡に橋を架けることを目指しつつ、青函地域の将来を考え、地域交流の活性化を図り、この地域を日本及び世界に誇れる地域にすることも目指してきました。

本会の運営にあたっては、発足以来、個人会員による会費を活動資金としてきましたが、安定した活動資金の確保を目的として、昨年、法人・団体会員を新たに設定しました。

本州・北海道架橋は、日本でも有数の大規模プロジェクトとなります。本会は、その実現に向け末永く活動が続けていきたいと考えておりますので、貴法人・貴団体におかれましては是非とも趣旨にご賛同いただき、ご入会いただけますようお願い申し上げます。

ご入会申し込みは、別紙申込書で FAX 又はメールで申し込むか、当会ホームページから申し込むことができます。年会費は、申込書に記載の振込先にお振込みいただければ幸いです。

なお、個人会員も募集しており、当会ホームページから申し込んでいただければメールにて振込先（法人・団体会員と同じ振込先）をお知らせいたします。

本州・北海道架橋を考える会

記

1. 年会費（法人・団体会員）

一口 10,000 円（できるだけ複数口での申込みをお願いいたします）

2. 会計年度

1 月 1 日から 12 月 31 日

3. 代表幹事

戸 沼 淳

4. 事務局

紀の國建設株式会社 内 紀 國 隆 介

〒041-0812 函館市昭和 1 丁目 3 番 8 号

TEL：080-6065-1030 FAX：0138-42-3893

E-mail：r.kinokuni@kinokunikensetsu.co.jp

<https://kakyō-kangaerukai.com/>

以上

本州・北海道架橋を考える会 法人・団体会員 申込書

申 込 年 月 日	年 月 日
法 人 ・ 団 体 名	
住 所	〒 —
電 話 番 号	— —
担 当 者 名	
E-mail アドレス	
申 込 み 口 数	□
備 考	

【お願いと注意事項】

- ※1 申込み口数は、できるだけ複数口でお願いいたします。
- ※2 お申し込みの際は、上記事項を記入して FAX か E-mail にて事務局まで送付願います。
なお、入会お申込みは、当会ホームページからも可能です。
<https://kakyokangaerukai.com/>
- ※3 請求書、領収書が必要な場合は、事務局にご連絡いただければ送付いたします。
- ※4 昨年度入会された法人・団体の皆さまには、令和6年度の会費納入について8月中にご案内する予定です。

<振込先> 北洋銀行 五稜郭公園支店
 普通 4 2 2 2 4 1 4
 口座名 本州・北海道架橋を考える会

<問合せ先> 事務局
 紀の國建設株式会社 内 紀 國 隆 介
 TEL：080-6065-1030 FAX：0138-42-3893
 E-mail：r.kinokuni@kinokunikensetsu.co.jp

本州・北海道架橋を考える会

■活動趣旨

本州・北海道架橋を考える会は、津軽海峡に人や自動車が自由に通れる橋を架けることを目指した仲間の会です。

また、この活動を通じて、青函地域の将来を考え、地域交流を盛んにすることにより、青函地域の活性化を図り、この地域を日本及び世界に誇れる地域にすることを旨とした仲間の会であります。

■三原則

1. 本会の活動を永続的に推進するため、会員は法人・団体会員と個人会員により構成する。
2. 本会は、陳情、政治活用等、期成会的な活動を行わず、また他の地域発展のための運動推進の妨げにならないようにする。
3. 本会の代表については会長を置かず、代表幹事制とする。

本州・北海道架橋を考える会 規約

第1条 名称

本会は「本州・北海道架橋を考える会」と称する。

第2条 活動内容

本会は、青函地域の発展や本州・北海道架橋を考えるための各種活動を推進するものとする。

第3条 会員構成

本会の活動を永続的に推進するため、会員は法人・団体会員と個人会員により構成する。

第4条 入会・脱会

本会への入会・脱会については会員の意思を尊重し、いつでも行うことができる。

第5条 運営体制

本会の運営に当たっては会長を置かず、幹事制とする。その構成については以下のとおりである。なお、常任幹事、幹事の員数については適宜とする。

常任幹事（うち代表幹事 1 名、副代表幹事・常任幹事 若干名）

幹 事

事務局長 1 名

事務局次長 若干名

特別顧問・顧問 若干名

常任幹事等については会員の推薦により選任する。

第 6 条 任期

代表幹事及び副代表幹事は常任幹事の中から選出し、任期を 2 年とする。

但し、再任を妨げない。

第 7 条 会費

本会の経費は年会費、その他の収入をもってこれに充てる。

本会の年会費及び会計年度は次のとおりである。

年 会 費 法人・団体会員 一口 10,000 円

個人会員 1,000 円

会計年度 1 月 1 日～12 月 31 日

なお、各種イベント開催時には、原則として参加者から参加費を徴収して運営するものとする。

第 8 条 その他

その他の事項については、常任幹事会において決定する。

1994 年 2 月 26 日 制定

1999 年 2 月 24 日 一部改正

2023 年 11 月 3 日 一部改正

2024 年 7 月 25 日 一部改正